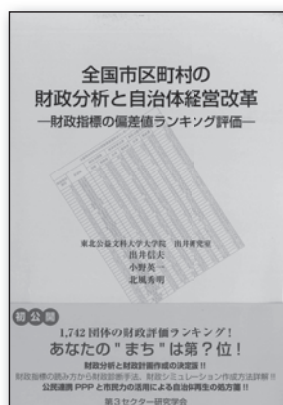


新刊案内

東北公益文科大学大学院出井研究室（出井
信夫、小野英一、北風秀明）

『全国市区町村の財政分析と自治体経営改革 —財政指標の偏差値ランキング評価—』

B 5 判 210頁 定価 4,000円（税別）



発行所 第3セクター研究学会

今年4月、地方財政を専門とする研究グループの成果が一冊にまとまった。本書は、地方財政に関する研究において、2つの点で革新的な試みを行っている。

まずは、この国の地方財政の状況を可視化したことだ。巷では、「地方創生」がしきりに論じられているが、その実、具体的な数値や、それが全体から見てどの程度深刻なものかが示されることは少ない。本書では、全国1,742のすべて（!!）の市区町村の膨大なデータを基に、財政偏差値ランキングを作成している。このデータから派生して、財政問題が顕在化する地域の特徴を洗い出すなど、さらに本質的な分析が可能となるだろう。

次に、平成19年度の決算以降、健全化判断比率として公表されてきた「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将

来負担比率」の4つの指標を掘り下げて検証したところだ。「夕張ショック」と呼ばれる北海道夕張市の財政破綻が契機となり、政府は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を公布し、健全化判断比率及び資金不足比率の公表に関する規定を施行した。それにより、総務省は「概ね財政は健全化された」との見解を出しているが、本書はそれに対して疑問を投げかけている。

著者グループの中心である出井信夫教授は、地方財政及び第3セクター・PPP(Public Private Partnership)研究の先駆者で、関連著書を多数有し、また実務面では自治体や地方銀行協会、日商など多くの団体にアドバイスをしてきた。本書は、所属大学の定年退職を眼前に執筆されたというが、まさにこれまでの研究の集大成といえるだろう。

主要目次

- 1章 市町村の計画行政と行政計画
- 2章 市町村財政の基礎的分析
- 3章 自治体PDCAサイクルの推進
- 4章 地方公共団体の財政健全化法
- 5章 全国の財政破綻懸念市町村ランキング
- 6章 山形県内市町村財政の多変量解析
- 7章 自治体の財政計画・経営計画の策定
- 8章 公民連携PPPと自治体経営

【資料編】

- 1 財政力指数の偏差値ランキング
- 2 経常収支比率の偏差値ランキング
- 3 実質公債費比率の偏差値ランキング
- 4 総合評価の偏差値ランキング
- 5 47都道府県別の偏差値ランキング
- 6 酒田市の決算カード（決算状況）と財政比較分析表の例
- 7 財政計画・財政シミュレーション計画作成の基礎資料